

知的クラスター創成事業(第 期)

概要・実施地域

1. 目的・趣旨

「知的クラスター創成事業(第 期)」の成果等を踏まえ、「選択と集中」の視点に立ち、世界レベルのクラスター形成を強力に推進することを目指します。

2. 予算措置

- 平成19年度政府予算額 55億円
- 地域毎に、研究開発分野やクラスターの進捗度合いに応じて、柔軟な予算配分、原則5年間
- 地方自治体が指定する本事業の実施主体たる中核機関(科学技術関係財団等)に対する委託
 - *当事業においては、地域の自立化を促進するため、地域クラスター形成に向けた取組のための経費支出を求めています。
- クラスターの競争力強化の観点から、必要に応じ国内外を問わず、戦略的に他地域との連携を促進(広域化プログラムを競争的に採択)



▲ 事業実施地域(6地域)

は核となる研究機関



札幌周辺を核とする道央地域 (P.8)
 さっぽろバイオクラスター構想“Bio-S”
 (ライフサイエンス、情報通信)
 北海道大学 等

長野県全域 (P.12)
 信州スマートデバイスクラスター
 (ナノテク・材料)
 信州大学、東京理科大学、
 長野県工業技術総合センター 等

広域仙台地域 (P.10)
 先進予防型健康社会仙台クラスター
 (情報通信、ライフサイエンス)
 東北大学 等

浜松地域 (P.14)
 浜松オプトロニクスクラスター
 (情報通信、ナノテク・材料、ライフサイエンス)
 静岡大学、豊橋技術科学大学、浜松医科大学 等

関西広域地域 (P.16)
 関西広域バイオメディカルクラスター
 (ライフサイエンス)
 京都大学、大阪大学、神戸大学、医療基盤研究所、
 理化学研究所発生・再生科学総合研究センター 等

福岡・北九州・飯塚地域 (P.18)
 福岡先端システムLSI開発クラスター
 (情報通信)
 九州大学、九州工業大学、北九州市立大学、
 福岡大学、早稲田大学 等